

彗 星 課 月 報

Monthly Report of the Comet Section, August, 2008

課長 関 勉 T. Seki

幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 佐藤裕久 H. Sato

8月の状況（佐藤）

☆ C/2007 W1 (Boattini)

8月3日、熊本県の宇都宮章吾氏から OAA 彗星課メーリングリスト（以下 oaa-comet ML という。）に「熊本・阿蘇の宇都宮です。暑い日が続いていますが、明け方は、19℃まで下がり、クーラー無しでも熟睡できています。そんなでよく寝過ぎてしまっています。昨夜から明け方まで良く晴れて久しぶりの C/2007 W1 (Boattini) の眼視観測です。…」と光度（7cm 双眼鏡）と形状（15cm 双眼鏡）が報告された。

続いて4日には横浜市の吉田誠一氏から oaa-comet ML に「群馬県・北軽井沢での彗星観測です。…両日ともに夕立はありませんでしたが、とても湿気が多く、霧の中にいる感じです。時々、わずかな晴れ間が生じて、星を見られましたが、またすぐに隠れてしまう、の繰り返しでした。ただ、3日の夕方から夜半までは結構長く晴れていました。…C/2007 W1：拡散状ですが、明るく見やすいです。…」と2日～3日に行った C/2007 W1 の他7彗星の観測報告があった。

9日は筆者から oaa-comet ML に「昨夜と一昨夜、自宅庭での観測です。透明度は良くありませんでしたが高度が高く観測できました。非常に見づらくなりました。バックが白っぽく目をそらさないと見落としします。昨夜は観測中に光度 5.5 等の人工衛星が視野の右から左に移動していました。調査したところ、アメリカ海軍の海洋監視衛星 NOSS 3-1（2001-040A）であることがわかりました。」と報告した。

11日、芸西天文台の関勉課長からは同じく「…朝方の搜索で自然に C/2007 W1 が入って来ました。明るさと大きな光芒には驚きました。…有効最低倍率では、まだ結構明るいです。ペルセウス群が少し活動しているようでした。そして早くも秋の黄道光が見えています！」との報告があった。

13日、千葉県船橋市の張替憲氏からは同じく「九十九里海岸ではこの時期、「海の家」が一晩中煌々と灯りを点し、若者が未明まで海岸で花火を打ち上げて観測を妨げます。…やや暗くなりましたが透明度がますますだったこともあり前回よりコマが明瞭に見えました。」と7日の観測報告があった。

9月1日、関課長から「C/2007 W1 が大変に暗くなりました。…近くに輝星があつて、見難かったのですが、15cm でかすかな拡散像が見えていました。70cm でも普段の短い露出では写りませんでしたので、急激に減光し始めたかかもしれません。極めて拡散した淡いイメージに見えました。…」と31日の観測の様子が報告された。

眼視による観測が次のように報告されている。

C/2007 W1 (Boattini)

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Aug.	2.76	7.2	10'	4	-	-	7/5	5/5	25×15cmB	宇都宮章吾	①
	3.71	7.9	7.5	3	-	-	-	-	36×40cmL	吉田誠一	
	7.71	8.2	6.5	6	-	-	3/5	4/5	49×32cmL	張替 憲	
	7.75	7.8	7	2	-	-	3/5	3/5	25×10cmB	佐藤裕久	Alt. 56°
	8.75	7.9	8	2	-	-	2/5	3/5	25×10cmB	佐藤裕久	Alt. 55°
	10.64	8.0	7	5	-	-	4/5	3/5	25×15cmB	関 勉	
	31.65	10.5	3	4	-	-	4/5	3/5	55×15cmR	関 勉	

①16×7cmB 併用

☆ 6P/d'Arrest (写真 a)

8月2日、筆者から oaa-comet ML に「スペインの Juan José González によると 6P/d'Arrest が明るいそうです。ただ、だいぶ拡散しています。見た目は暗そうか。7月26日の観測と比較してみてください。」と6Pが明るくなってきたことを知らせた。

同日、関課長から同じく「ダレ彗星が明るくなりましたか。芸西では、ごく最近まで70cmで写していますが、F値が暗いので恒星状です。しかし CCD ではわずかにコマが見られるようです。恐らく淡いコマが全体を取り巻いて m1 はかなり明るくなっているかも知れません。この星は、日心距離によって急速に明るくなります。もう30年以上も前でしょうか、四国中央山地の「しらさ山荘」(1800m)に家族で泊まったとき、野外に双眼鏡を持ち出し観測すると、肉眼でも見えそうな大きな光茫に驚き、急遽一色の小島信久さんに電話したことを思い出しました。…」とのコメントがあった。

眼視による観測が次のように報告されている。

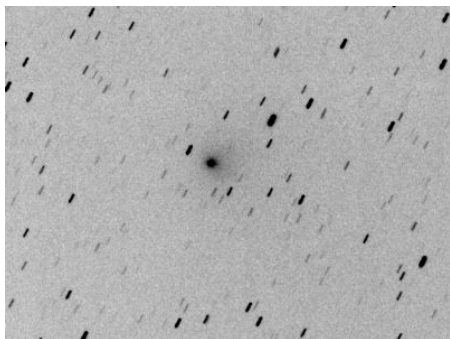
6P/d'Arrest

2008	UT	m1	Dia	DC	Tail	p.a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Aug.	2.64	12.1	1.1'	3	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一	
	3.51	11.7	1.6	2/	-	-	-	-	144×40cmL	吉田誠一	

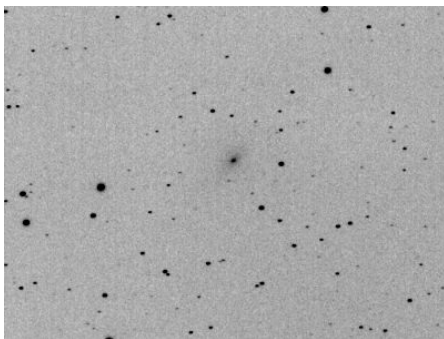
8 月中に発見された彗星は次のとおり。

- ☆ C/2008 Q1 (Maticic) 8 月 18.81 日 UT、Stanislav Maticic は、強い月光の中、Crni Vrh 天文台 (スロベニア) の彗星及び小惑星調査プログラムのコース上に 0.6-m f/3.3 Cichocki robotic 望遠鏡によって得た画像から恒星状の移動天体を発見した。NEO Confirmation Page に掲載後、R. Ligustri (Talmassons, Udine, イタリア, 0.35-m f/5 反射) ら幾人かの CCD 観測者によって彗星であることが確認された。(IAUC 8966, 2008 Aug. 20)
- ☆ P/2008 Q2 (Ory) 8 月 27.09 日 UT、Michel Ory (Delemont, スイス) は Vicques にある 0.61-m f/3.9 反射で得た CCD 画像から小惑星状の天体を発見した。NEO Confirmation Page に掲載後、A. Knoefel (Schoenbrunn, ドイツ, 0.5-m 反射) ら幾人かの CCD 観測者によって微かにコマがある彗星であることが確認された。(IAUC 8967, 2008 Aug. 28)
- ☆ C/2008 Q3 (Garradd) 8 月 27.64 日 UT、G. J. Garradd は、Siding Spring の 0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡で得た画像から 10" のコマのある彗星を発見した。NEO Confirmation Page に掲載され、A. C. Gilmore と P. M. Kilmartin (Mount John 天文台, 1.0-m f/7.7 反射) の観測では、6" の集光したコマがあり尾はない。(IAUC 8968, 2008 Aug. 28)

その他比較的明るい彗星は、C/2008 J1 (Boattini) (写真 b)、15P/Finlay、C/2007 N3 (Lulin)、C/2006 W3 (Christensen)、C/2006 OF₂ (Broughton)、C/2007 G1 (LINEAR)、C/2005 L3 (McNaught) などであった。



(写真 a) 6P/d' Arrest 2008, 08, 21
22h 50m-23h 00m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) C/2008 J1 (Boattini) 2008, 08, 21
23h 48m-23h 58m (JST) exp. 60sx7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏